

桃山台二ノ切校 合格体験記 T・Rくん (大阪教育大学教育学部教育協働学科多文化リテラシーコース 合格)

受験を終えて ～新高3生のみなさんへ～

今年1年、受験勉強を続けて気付いたことがたくさんありました。その中でも特に大事だと感じたことを二つ、これから受験生になるみなさんに伝えたいと思います。

一つ目は「続けることの大切さ」です。三十分でもいいから、必ず毎日自分に足りないと感じている科目は勉強してほしいと思います。もちろん、長時間机に座って勉強することは大切です。しかし、それも毎日継続しなければ定着しません。だから、毎日短時間でも勉強して、勉強をしないと体が「ゾワゾワしてくる」くらいにできれば素晴らしい勉強習慣が身につくと思います。続けることが大事なのはなにも勉強だけではありません。僕は運動が好きで部活を引退してからも毎日一時間ほど筋トレを行っていました。十一月頃には毎日勉強と運動をしないと寝られない体になっていました。おかげで、毎日健康的な生活を送ることができ、受験勉強にも集中することができました。「継続は力なり」という言葉は様々なところで耳にすることがあり、聞き飽きているかもしれませんが、それほど聞く機会があるということは、それは真実で、しっかり継続すれば、本当に力がつく、ということなのだと思いの経験を通して思います。

二つ目は、「目標を高く設定することの大切さ」です。僕自身、最初の志望大からセンター試験の1か月前に、思い切って志望大を上げたことで、一か月間で大きく成績を伸ばすことができました。目標を高く設定することで、「やらなくてはならない」という覚悟が生まれると思います。目標を高く設定することに無駄なことは一切ありません。その高い目標に向かって努力をすることで、力がつくはずですよ。

新高3生のみなさん、次はみなさんの番ですね。思いっきり勉強を頑張りましょう。